

## 5. 活動報告

### 5. 1. 会議録

#### (1) 第1回 宮城県沖地震における重点的調査観測運営委員会 議事録

日 時 平成20年11月10日(月) 13時00分～16時00分

場 所 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター第一会議室

#### 出席者(委員)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	松澤 暢
東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター	教授	金沢 敏彦
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	日野 亮太
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	教授	今泉 俊文
産業技術総合研究所活断層研究センター	研究チーム長	岡村 行信
東京大学地震研究所地震火山災害部門	研究員	木村 武志(額瀨代理)
東北大学大学院理学研究科固体地球物理学講座	教授	佐藤 春夫

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	長谷川 昭
防災科学技術研究所	研究参事	堀内 茂木
海洋研究開発機構 地震・津波ネットワークセンター	研究員	有吉 慶介(金田代理)
仙台管区気象台 技術部	地震情報官	中村 浩二

(オブザーバー)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	研究員	飯沼 卓史
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	本部係長	北村 京子
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震調査官	吉田 昌弘

#### 議事概要

##### 1. 挨拶

松澤主査(東北大理)より、開会の挨拶があり、佐藤委員長(東北大理)の司会により、議事を開始した。

##### 2. 短期海底地震観測および陸上地震・測地観測によるプレート間すべりに関する研究

(東北大理：飯沼) 資料20-1-1

日野委員に代わって、飯沼氏より20年度の短期海底地震観測、相似地震・GPS観測について報告があった。

##### 3. 長期海底地震観測によるプレート間すべりに関する研究

(東大地震研：金沢) 資料20-1-2

20年度の長期観測型海底地震計購入・整備状況、海底地震観測で得られた震源分布につ

いて報告があった。

4. 津波堆積物調査に基づく地震発生履歴に関する研究

(東北大理：今泉) 資料 20-1-3

20 年度の陸前高田市周辺でのジオスライサー調査の説明、19 年度の津波堆積物学調査による成果について報告があった。

5. 地質調査・津波シミュレーションに基づく地震発生履歴に関する研究

(産総研：岡村) 資料 20-1-4

20 年度の調査で使用する、GRP（地中レーダー）探査について説明があった。

6. 仙台圏における高精度強震動評価の実現

(東大地震研：木村) 資料 20-1-5

宮城県中北部域の強振動予測の高精度化に向けての説明があった。

7. 閉会の挨拶

作成者：事務局 飯渕 みか

## (2) 第2回 宮城県沖地震における重点的調査観測運営委員会 議事録

日 時 平成 21 年 3 月 12 日 (木) 13 時 00 分～16 時 00 分

場 所 東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター第一会議室

### 出席者 (委員)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	松澤 暢
東京大学地震研究所地震地殻変動観測センター	教授	金沢 敏彦
東北大学大学院理学研究科環境地理学講座	教授	今泉 俊文
産業技術総合研究所活断層研究センター	研究チーム長	岡村 行信
東京大学地震研究所地震火山災害部門	研究員	木村 武志(瀨瀨代理)
東北大学大学院理学研究科固体地球物理学講座	教授	佐藤 春夫
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	教授	海野 徳仁
東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	研究員	飯沼 卓史 (日野代理)
海洋研究開発機構 海底地震・津波ネットワーク開発部	研究員	有吉 慶介(金田代理)
仙台管区气象台 技術部	地震情報官	中村 浩二
東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター	教授	今村 文彦
東北大学大学院理学研究科環境動態講座	教授	箕浦 幸治

### (オブザーバー)

東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	准教授	三浦 哲
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震調査管理官	橋本 徹夫
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	本部係長	北村 京子
文部科学省研究開発局地震・防災研究課	地震調査官	吉田 昌弘

### 議事概要

#### 1. 挨拶

松澤主査(東北大理)より、開会の挨拶があり、佐藤委員長(東北大理)の司会により、議事を開始した。

#### 2. 短期海底地震観測および陸上地震・測地観測によるプレート間すべりに関する研究

(東北大理：飯沼) 資料 20-2-1

20 年度の短期海底地震観測、相似地震・GPS 観測の成果について報告があった。

#### 3. 長期海底地震観測によるプレート間すべりに関する研究

(東大地震研：金沢) 資料 20-2-2

20 年度の長期観測型海底地震計の整備状況、海底地震観測で得られた震源分布と地震波速度構造について成果報告があった。

4. 津波堆積物調査に基づく地震発生履歴に関する研究

(東北大理：今泉) 資料 20-2-3

20 年度の陸前高田市周辺でのジオスライサー調査、追加調査の常磐海岸・松川浦でのジオスライサー調査の成果について報告があった。

5. 地質調査・津波シミュレーションに基づく地震発生履歴に関する研究

(産総研：岡村) 資料 20-2-4

20 年度の調査を行った仙台平野と常磐海岸の地殻変動や津波堆積物について報告があった。

6. 仙台圏における高精度強震動評価の実現

(東大地震研：木村) 資料 20-1-5

仙台圏における強振動評価に向けた、動力学震源モデルやプレート上面モデル等に関する 20 年度の検討結果について報告を行った。

7. その他

(文部科学省：吉田)

来年度の予算は、5 千万円となること、また最終年度のため、成果を地震調査会等で発表して頂きたい旨の挨拶があった。

7. 閉会の挨拶

作成者：事務局 飯渕 みか